



## 国際・戦争・人権・哲学

<b>哲学トレーニング1~2</b> <1巻は人間関係について、2巻は社会について考えていく本>	直江 清隆
<b>わたしは13歳、学校に行けずに花嫁になる。</b> <女だから、それだけの理由で遭遇する苦難と奪われる自由。子どもが子どもを妊娠する最悪の状況、女には夫に従う妻と子を育てる母以外の価値はないという考え方…女の子の過酷な現実を知ろう>	久保田 恭代 寺田 総子 奈良崎 文乃
<b>わたし8歳、職業、家事使用人。</b> <児童労働者のうち、家事使用人として働く女の子のきびしい現実、直面する問題や課題、私たちになにができるかを紹介します>	藤崎 文子 京井 杏奈 藤岡 恵美子
<b>990円のジーンズがつくられるのはなぜ？</b> <なぜ安いジーンズが作られるのか？ファストファッションの現実>	長田 華子
<b>ぼくらのアフリカに戦争がなくならないのはなぜ？</b> <戦争がなくならないアフリカの市民の今の話>	小川 真吾
<b>子どもたちにしあわせを運ぶチョコレート。</b> <チョコレートが好きなのはたくさんいるでしょう。そのチョコレートで人が幸せになる物語>	白木 朋子
<b>妹は3歳、村にお医者さんがいてくれたなら。</b> <自宅に薬もない、医者もない、それで亡くなる子どもがたくさんいることを知っていますか？>	国境なき医師団日本
<b>ぼくは13歳、任務は自爆テロ。</b> <自爆テロの任務で亡くなった子ども達の悲しくて心に刺さる物語>	永井 陽石
<b>わたしは13歳、シリア難民。</b> <シリア難民の子どもは我々が普通に持っている物を持たない。そんな子どもたちの日常>	国境なき子どもたち
<b>ぼくは12歳、路上で暮らしはじめたわけ。</b> <12歳の子どもが、家もないなか路上でどう暮らしているのか>	国境なき子どもたち
<b>ぼくの村がゾウに襲われるわけ。</b> <ゾウに村が襲われ、親が殺された人たちがいる。ゾウに襲われて困っている人たちの実話>	岩井 雪乃

<b>ぼくが遺骨を掘る人「ガマフヤー」になったわけ。</b> <沖縄の戦争で亡くなった方の遺骨を掘るようになった具志堅さんの半生とは>	具志堅 隆松
<b>わたし8歳、カカオ畑で働きつづけて。</b> <世界には、8歳という幼さで働かなければならない子どもがたくさんいる。もし自分がこんな風だったらと考えてしまう本>	岩附 由香 白木 朋子 水寄 僚子
<b>わたしは10歳、本を知らずに育ったの。</b> <本を知らない子どもが一冊の本と出会い、生きる希望を持った>	鈴木 昌子
<b>ぼくは13歳職業、兵士。</b> <兵器を持たされ、兵士として戦わされる子ども兵の過酷な日々>	鬼丸 昌也
<b>ぼくのお母さんを殺した大統領をつかまえて。</b> <国際刑事裁判所は暴力や差別、紛争によって人々を殺したり傷つけたりした者を裁く裁判所です。大統領に親を殺された少年は大統領を裁く事ができるのか>	アムネスティ・インターナショナル日本 国際人権法チーム
<b>高校倫理からの哲学 1~4 別巻</b> <私たちが生きていることそのものの理解を深め、生きる大切さを教えてくれる>	直江清隆 越智貢
<b>1日1ページ、読むだけで身につく世界の教養365 (人物編)</b> <悪人や哲学者、中には、預言者など多くの著名人がこの本にいる>	デイヴィッド・S・キターノ ア・D・オッペンハイム
<b>世界の難民をたすける30の方法</b> <世界と日本の難民支援を知り、考え、調べるための本>	滝澤 三郎
<b>父が娘に語る経済の話。</b> <元財務大臣の父が語る、世界経済の本質が一気にわかる話>	ヤニス・バルファキス
<b>新版1945年8月6日</b> <人類絶滅の危機を感じた世界の人々が「ノーモア・ヒロシマ」の訴えを受け止めて核廃絶に立ち上がる>	伊東 壮
<b>ひめゆりの沖縄戦</b> <18歳の少女の目を通して、多数の住民を死に巻き込んだ沖縄戦の実相が浮かび上がる>	伊波 園子
<b>高校生になったら</b> <高校生活で誰もがつきあたる勉強、友達、クラブ、進路など多くの問題をとりあげ、どう考えればよいかを教えてくれる>	田代 三良
<b>平成遺産</b> <阪神淡路大震災、ゆるキャラ、情報技術に AI など平成ならではのものに携わってきた人たちのお話>	最果タヒ ブレイディみかこ 川添愛
<b>みらいめがね</b> <みらいめがねは世界の見方を広げるツール。至極の2人がお届けする新感覚のメガネSTORY>	荻上チキ ヨシタケシンスケ
<b>憲法読本 第4版</b> <人権保障、権力の民主化、平和主義などの考え方を深く学ぼう>	杉原泰雄

<b>THE LAST GIRL</b> ＜イスラム国に囚われた女性が戦い続ける物語＞	ナディア・ムラド
<b>わたしで最後にして</b> ＜ナチスのT4作戦。人間の価値とは、社会はどうあるべきなのか＞	藤井克徳
<b>ギネス世界記録 2019</b> ＜長い地球の歴史のなかで生まれた様々な世界記録を収録＞	クレイグ・グレンディ
<b>スマホ世代の子どものための主体的・対話的で深い学びにむかう情報モラルの授業</b> ＜現代社会における情報モラルに関する課題をまとめた事例集＞	今度珠美 稲垣俊介
<b>歴史を変えた50人の女性アスリートたち</b> ＜「女は弱い！」と女性を締め出してきた近代スポーツ界に飛びこみ、歴史を変えた女性アスリート紹介＞	レイチェル・イグノトフスキー
<b>焼けあとのちかい</b> ＜作家・半藤一利さんが体験した戦争の話＞	半藤一利 塚本やすし
<b>シリーズ疫病の徹底研究 1~4</b> ＜人類の疫病の歴史＞	坂上博
<b>いじめられている君へいじめている君へいじめを見ている君へ</b> ＜朝日新聞で大反響をよんだ連載が一冊に。63人の著名人からの「命のメッセージ」＞	朝日新聞社
<b>時をあやつる遺伝子</b> ＜「体内時計」によって体温やホルモンの分泌を調整している私たち。その「体内時計」とはいったいなんなのかを考えてみよう＞	松本顕
<b>分かちあう心の進化</b> ＜心の何が大切なのか、ゴリラと比べて人の心について考えよう＞	松沢哲郎
<b>無限</b> ＜哲学者や物理学者、数学者を魅了し、悩ませ続けた無限。どうして、こんなに悩ませたのか…＞	イアン・スチュアート
<b>「おしどり夫婦」ではない鳥たち</b> ＜鳥の家族関係、子供の真実、きっと君も驚愕する＞	濱尾章二
<b>ガロアの論文を読んでみた</b> ＜決闘の前夜、数学者のガロアが手にしていた第一小論文。時代を超越する構造を見出した論文を読みとく＞	金重明
<b>嗅覚はどう進化してきたか</b> ＜視聴や聴覚に比べて複雑で多くの謎が残る嗅覚について、専門家がわかりやすく解説＞	新村芳人
<b>科学者の社会的責任</b> ＜驚異的な発展をとげる科学、未解明の科学が現代社会に影響を及ぼしたら科学者はどんな責任を負うのか＞	藤垣裕子

<b>リアルサイズ古生物図鑑 中生代編</b> ＜中生代の恐竜たちがリアルにいたら、どのくらいの大きさなのか分かる図鑑！古生代編に続き、中生代編が登場＞	土屋健
<b>ビジュアル大百科元素と周期表</b> ＜皆さんが中学の時に習った元素記号をはじめ、たくさんの元素が美しくまとめられています。見るだけでも楽しめる一冊です＞	トム・ジャクソン
<b>やさしくわかるデジタル時代の著作権 1~3</b> ＜著作権とは何か？著作権の許可の取り方とは？＞	山本光 松下孝太郎
<b>税ってなに？ シリーズ1~4</b> ＜いろいろな国の税金の状況などがわかり、税の勉強に最適！＞	三木義一
<b>組合せ数学</b> ＜「選ぶ、並べる、数える」を突き詰めると、こんなに多彩な数字が出てくる＞	ロビン・ウィルソン
<b>へいわとせんそう</b> ＜白黒で構成され、シンプルかつ分かりやすい言葉。平和と戦争の違いを絵で表現＞	たにかわしゅんたろう
<b>サンプリングって何だろう</b> ＜統計学の基本中の基本であるデータの集め方、サンプリングの考え方やしくみをわかりやすく解説している本＞	廣瀬雅代 稲垣佑典 深谷肇一
<b>岩石はどうしてできたか</b> ＜岩石はどのようにしてできるのか？水かマグマか…＞	諏訪兼位
<b>学ぶ脳</b> ＜ぼんやりしている時にひらめきは生まれる。脳について知ろう＞	虫明元
<b>高校生からわかる社会科学の基礎知識</b> ＜現代社会を読み解くために必要な社会科学の基礎知識。これから就職する人にオススメ＞	酒井峻一
<b>クジラのおなかからプラスチック</b> ＜クジラのおなかの中から80を超えるプラスチックがでてきた。ゴミをどうしたらなくせるのか、環境について考えさせられる本＞	保坂直紀
<b>超図解 むまがさわたりのふしぎな昆虫大研究</b> ＜ちょっとしたストーリーで昆虫たちをたのしく紹介＞	丸山宗利
<b>絵で読む広島原爆</b> ＜原爆の開発から投下まで…今日の視点から原爆を見つめる＞	那須正幹 西村繁男
<b>やりぬく力 GRIT</b> ＜成功に必要なのは、資源ではなく「情熱」と「粘り強さ」すなわちGRIT（やり抜く力）だ＞	アンジェラ・ダックワークス
<b>一番わかるシリーズ（電気自動車、再生可能エネルギー、センサ、自動車整備）</b> ＜それぞれの専門が学べる本。自動車・機械科の生徒は一読を！＞	松平智敬・松本光春 今泉大輔・石川憲二

## 文化系

<b>食べたくなる本</b> ＜「料理本批判」というユニークな試み！食に興味のある人へ＞	三浦 哲哉
<b>絵はすぐに上手にならない</b> ＜絵を描く技術書ではなく“絵を学ぶ思考と方法”を論じた一冊。絵好きな人だけでなく、絵が嫌いな人もぜひ読んでみて！＞	成富 ミヨリ
<b>読書する人だけがたどり着ける場所</b> ＜ネットのある今だからこそ「読書をする理由」がある。「人生と知性に深みを作る読書」の仕方をご紹介！＞	斎藤 孝
<b>なるほどデザイン</b> ＜デザインに必要な基礎やルールをイラストで簡単に教えてくれる＞	筒井 美希
<b>僕がジュリアードとパークリーで学んだこと</b> ＜著者が語る、経験から得た音楽家にとって必要不可欠な教訓＞	藤原 清登
<b>数と音楽美しさの源の旅</b> ＜哲学者や芸術家らを魅了した“数”と“音”の不思議な関係＞	坂口 博樹
<b>ビブリオバトルハンドブック</b> ＜ビブリオバトルとはお気に入りの本を紹介しあうゲーム。バトルのルールや楽しみ方をわかりやすく説明＞	ビブリオバトル普及委員会
<b>ヴィオラ母さん</b> ＜札幌交響団ヴィオラに入団した女性第一号の『テルマエ・ロマエ』作者のお母さんの物語＞	ヤマザキマリ
<b>物語北欧神話 上・下</b> ＜霧と炎が支配する世界に巨人と神々が生まれ、彼らは定められた滅びへと進んでいく＞	ニール・ゲイマン 金原端人 野沢佳織
<b>お砂糖とスパイスと爆発的な何か</b> ＜シェイクスピア研究者によるフェミニスト批評絶好の入門書＞	北村紗衣
<b>料理の科学大図鑑</b> ＜サイエンスで料理や食べ物の謎に答える最強の入門書＞	スチュアート・ファリモンド
<b>ふしぎ？びっくり！ニッポン美術たんけん 第1～3巻</b> ＜江戸時代に描かれた作品などをわかりやすく解説＞	辻惟雄
<b>日本全国境界未定地の事典</b> ＜県境・市町村境や所属未定地を全収録＞	浅井建爾
<b>日本全国合成地名の事典</b> ＜日本全国の合成地名を詳しく収録＞	浅井建爾
<b>カリカリベーコンはどうして美味しいにおいなのか？</b> ＜食べ物・飲み物にまつわる科学の疑問。たった一工夫を加えるだけで、何故こんなに美味しくなるのか？科学的に解明！＞	ANDYBRUNNING

<b>魔法使いたちの料理帳</b> ＜ハリーポッター、美女と野獣などのファンタジー作品に出てくるごちそうを家庭でも、作れるレシピ集＞	オーレリア・ポーポミエ
<b>黒板アート甲子園作品集</b> ＜黒板アート甲子園で描かれた作品を紹介＞	日学株式会社総
<b>全国作家記念館ガイド</b> ＜全国の文学館・記念館、多彩な作家たちを掲載＞	作家記念館研究会
<b>What is 和食 WASHOKU?</b> ＜日本の伝統的な食文化を楽しく作れる＞	服部幸應 服部津貴子
<b>もっと知りたいサルバドール・ダリ</b> ＜一度見たら忘れられないダリの作品たち。面白くて、不思議で、ちょっと不気味な絵を描くダリの生活・人生に迫る＞	村松和明
<b>もっと知りたいマグリット</b> ＜空から男の人が降ってくる？大きな石が浮いている？マグリットの奇妙な世界にご招待！シュールなものが好きな人におすすめ＞	南雄介 福満葉子
<b>季節のこと</b> ＜春夏秋冬によく聞く言葉を大切に！日本人の感性を大切に＞	中村和弘
<b>動物の漢字語源辞典</b> ＜動物がモチーフにされた漢字の辞典＞	加納喜光
<b>植物の漢字語源辞典</b> ＜植物がモチーフにされた漢字の辞典＞	加納喜光
<b>どっちの料理対決！えらぼう！つくろう！ニッポンのご当地ごはん1～3</b> ＜これを見ればきっと、料理が上手になる＞	吉田瑞子
<b>クリムトへの招待</b> ＜『接吻』など金色が輝くきらびやかな作品が有名なクリムトの人生を、作風の変遷を追いながら紐解く＞	朝日新聞出版
<b>龍の午睡</b> ＜旭川市出身の方が書かれた本。約10年間の教員生活を皮切りに、北海道教育庁の指導主事や上川教育局長などを歴任し、道内各地で教育指導に従事してきた筆者渾身の教育の書＞	菅沼肇
<b>広辞苑を3倍楽しむ その2</b> ＜各界で活躍する著者たちが広辞苑から選んだ言葉を話のタネに、エッセイと美しい写真で描きだすサイエンス・ワールド＞	岩波書店編集部

## 小説・ラノベ系

<b>渦（第161回直木賞受賞作）</b> ＜浄瑠璃作者・近松半二の生涯を描いた奇蹟の芸術小説！＞	大島真寿美
--	-------

<b>自分コンプレックス</b> ＜自信を持ってない親友の気持ちを理解し、勇気づける物語＞	NHK オトナヘノベル
<b>家族コンプレックス</b> ＜恋人がマザコン、親を喜ばせるために頑張ってしまう自分、家族の中の狭い価値観…家族にまつわる10代の悩みを描くストーリー＞	NHK オトナヘノベル
<b>ネットゲ中毒</b> ＜リアルな人付き合いが怖くて、ネットゲに逃げ込むも、やっぱり現実の自分はダメダメで…リアルとネット、2つの世界について考える物語＞	NHK オトナヘノベル
<b>リア友トラブル</b> ＜仲間外れにされたときのあの感覚…一人は恥ずかしいと思いがちだけど、本等は「ぼっち」が一番強い？友人・同級生とのトラブルについて＞	NHK オトナヘノベル
<b>SNS トラブル連鎖</b> ＜エスカレートする「いじり」、トラブルがめんどうでなかなか抜け出せないグループ…SNS にまつわる3つのストーリー＞	NHK オトナヘノベル
<b>恋愛トラブル・ストーカー</b> ＜同じペンケースを持っていたことがきっかけで付き合い始めるが、束縛が徐々に厳しくなり…＞	NHK オトナヘノベル
<b>仮面シンドローム</b> ＜周りの友人を欺いていた3人のそれぞれのストーリー＞	NHK オトナヘノベル
<b>読書間奏文</b> ＜人生が変わる読書体験。本を通して自身のターニングポイントを綴る初エッセイ。SEKAI NO OWARI の SAORI が書いた本＞	藤崎 彩織
<b>忌館</b> ＜新人賞に奇妙な原稿が…小さな違和感が大きな恐怖へ＞	三津田信三
<b>どこの家にも怖いものはいる</b> ＜まったく関係ないように思える5つの怪談。1つずつでも恐ろしい怪談が、ある共通点から少しずつつながり、恐ろしい結末へ…＞	三津田信三
<b>弱キャラ友崎くん</b> ＜非リアでぼっちな友崎くんが、超ハイスペックリア充な日南葵の指導によりリア充を目指す＞	屋久ユウキ
<b>深夜特急 1</b> ＜インドからイギリス、遠路二万キロのユーラシア放浪が始まる＞	沢木耕太郎
<b>ダイナー</b> ＜出来心から闇サイトのバイトに手を出した女の子の悲惨な物語＞	平山夢明
<b>むらさきのスカートの女（第161回芥川賞）</b> ＜近所に住む「むらさきスカートの女」が気になって仕方ない「わたし」は、彼女と友達になるために彼女と同じ職場に…＞	今村夏子
<b>「いる」じゃん</b> ＜漫画家の松本大洋と詩人のくどうなおこが「生」をテーマにつくった絵本＞	くどうなおこ 松本大洋

<b>嗅覚はどう進化してきたか</b> ＜視聴や聴覚に比べて複雑で多くの謎が残る嗅覚について＞	新村芳人
<b>火のないところに煙は</b> ＜戦慄の暗黒ミステリー、驚愕の展開とどんでん返しの波状攻撃＞	芦沢央
<b>銀行支店長 新装版</b> ＜大手銀行支店長の片岡史朗は、合併した信金の本店だった飯田橋支店の立て直しを副頭取から命じられる…＞	江波戸哲夫
<b>集団左遷</b> ＜社内で無能の烙印を押された50人がひとつの部署に集められた。解雇の瀬戸際の戦いは？テレビドラマ化で人気作品＞	江波戸哲夫
<b>It might be an apple</b> （りんごかもしれない） <b>Can I Build Another Me?</b> （ぼくのになせものをつくるには？） <b>What Happens Next?</b> （このあとどうしちゃおう？） <b>Still Stuck</b> （もうぬげない） ＜人気作家ヨシタケシンスケの絵本が英語版になって登場！＞	Yoshitake Shinsuke
<b>ピアソン・キッズ・リーダーズ DISNEY セット 1-6</b> ＜ディズニーの物語が英語で描かれた絵本集。英語の勉強にぜひ！＞	
<b>夜に啼く鳥は</b> ＜不老不死の一族の末裔として少女のまま150年以上生きる御先は同じ境遇の四と出会う。時代を超えた愛と命の物語＞	千早茜
<b>ノーサイド・ゲーム = No Side Game</b> ＜弱小ラグビーチームのゼネラルマネージャーに就任した会社員・君島隼人の奮闘を描いたストーリー＞	池井戸潤
<b>希望の糸</b> ＜大事な子どもを地震で亡くし、また新しい命を授かり…。命の大切さが改めてわかる物語。話題沸騰で貸出希望者続出の期待作！＞	東野圭吾
<b>平場の月</b> ＜心のすき間を埋めるような感情のうねりを、求め合う熱情を、生きる哀しみを、旭川出身の作者が圧倒的な筆力で描く大人の恋愛小説＞	朝倉かすみ

## 読書の秋のおともに！

多くの新着図書が入りました。きっとお好みの本が見つかると思います。

本たちが図書館でお待ちしています！

また**希望図書アンケート**を今年も実施します。魅力ある図

書館づくりのためご協力をお願いいたします。